

お知らせ



国土交通省
中国地方整備局

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism
Chugoku Regional Development Bureau

平成27年5月22日

資料提供先

岡山県政記者クラブ

岡山市政記者クラブ

百間川分流部：江戸時代から遺る治水施設が明らかに！？

～発掘調査現場を公開します～

百間川分流部の「※1一の荒手及び※2背割堤」・「※1二の荒手」は、岡山県の埋蔵文化財包蔵地に認定されています。

昨年度、百間川分流部改築の工事着手に先立ち、江戸時代築造とされる「背割堤」を開削調査しました。今回は背割堤に現存している暗渠を以下のとおり、現地公開しますのでお知らせします。

現地公開では、岡山県古代吉備文化財センターが歴史的な観点から発掘調査の結果を、岡山河川事務所が百間川分流部の改築に関する取り組みをそれぞれ説明します。

記

日時：平成27年5月25日（月） 13:30～15:00（予定）

※少雨決行ですが、悪天候により中止する場合があります。

集合場所：百間川分流部背割堤暗渠発掘調査現場（岡山市中区中島地先）

（別紙位置図参照）

※駐車スペースに限りがありますので、乗り合わせてお越し下さい。

〈補足説明〉

岡山河川事務所では、昨年度から文化財保護法に基づき、埋蔵文化財発掘調査を岡山県古代吉備文化財センターに委託し行っています。

※1 一の荒手は、洪水時に旭川の水が百間川に越流するための施設で、二の荒手は、百間川に越流した時に土砂を溜める施設です。

※2 背割堤は、旭川と百間川を分けている堤防です。

□問い合わせ先

国土交通省 中国地方整備局 086-223-5101（代表）

岡山河川事務所 工務課長 兒子 真也（内線 311）

携帯電話 080-8242-5633

現地見学会位置図

